

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大 学 名	東京工業大学
整理番号	A-I-2
事 業 名	日中韓先進科学技術大学教育環

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">A</b>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p>                     交流プログラムの枠組みについては、サマープログラム、大学院課程教育プログラム、 Semester単位の科目履修をうまく組み合わせ、工夫された内容になっている。また、清華大学とのダブルディグリーの実績を踏まえ、KAIST との間でもダブルディグリーを実施する段階まで発展したことは大いに評価できる。                 </p> <p>                     また、質の保証についても、三大学連携の合同委員会によるガイドラインの作成に加え、国際評価のためのアドバイザーボードを活用した実効的な体制が構築されている。個々の学生に対する研究計画段階からの共同指導による質の保証を伴った単位認定も実施されている。                 </p> <p>                     外国人学生の受入のための環境整備は、在籍管理から宿舎の提供まで一括して行われ効果的に取組が進んでおり、留学生のためのインターンシップの機会の提供も積極的に取り組まれている。また、日本人学生に対しても留学前から帰国後まで一貫した支援体制が取られており、十分にサポートできる体制になっている。                 </p> <p>                     大学の国際化と情報の公開や、成果の普及も Web などを活用し、これまでの工学系大学のネットワークもベースにした一定の取組が行われている。                 </p> <p>                     全体的に計画された目標がほぼ達成されており、一部大幅に目標を上回っているものもある。                 </p> <p>                     今後の展開や我が国の大学教育のグローバル展開力への貢献についても、大いに期待できる。とりわけ、日中韓の工学系トップスクールの連携は、アジアが先端科学技術を生み出していく地域として今後も発展していくための有意義なプラットフォームになると期待される。                 </p>